

先生方のための徹底入試対策講座

第116回 大学入学共通試験の対策は？

来春から「大学入学共通テスト」が始まります。多くの受験生は、そろそろ本格的に対策をしなければ、と思っている頃でしょうか。

このテストに関しては、まだ未知の部分も大きいのですが、よくわからないでは、受験生諸君も困ってしまいます。少し大胆に、予想と対策を考えてみましょう。



これまでのセンター試験は、基礎学力を問うことを主眼として出題されてきました。少なくとも目的はそうでした。「大学入学共通テスト」はどのような試験になるのでしょうか。予測には、主としてこれまで2回行われた「大学入学共通テスト・試行調査」が数少ない情報として考えられてきました。

しかし、試行調査の問題がほぼすべて、読解力、分析力、思考力、表現力、振り返る力、発展させる力など、「広い意味での思考力」が要求される問題でした。

では、来春実施される「共通テスト」は「試行調査」の出題にみられるように、「思考力」を測ろうとする問題が予想されるのでしょうか。「思考力を測る問題」とは単に問題の答えを求めるだけでなく、その過程に関して様々な考察を行い、テーマの理解を深めていくような問題です。内容だけでなく出題の表現形式も、解決する過程を、「会話」という形をとる、など、これまでの「センター試験」にはない形式です。

1 この「試行調査」は、あくまで「調査」である

この「試行調査」を見て、「共通テスト」はすべてこのような問題になる、と誤解し、とても大変だからと「今年の春にはとにかく現役で大学に合格しよう」と考えた受験生も少なくなかったですよね。

でも、これはあくまで調査ですから、「試行調査」にこれまでのセンター試験のような問題は出す必要はない、これまでの何十年に渡るデータはすでに現存しているのですから、データの無いような出題をしてデータを収集するのが、「調査」ですよね。

「試行調査」は、これまでに
出題されなかったような問題が、
大胆に出題された

とみることも必要です。

「試行調査」の平均点が3割程度でしたが、

このままでは「共通テスト」には
ふさわしくない

ですよね。

もちろん、この「試行調査」で問われたような出題はあるでしょうが、これがすべてではないということは、忘れてはいけません。こんな問題ばかりならとても手が出ないと

対策をあきらめるようなことが
あってはいけません

よね。

2 「共通テスト」の目的は基礎学力である

「共通テスト」の目的は広い意味で大学入学志願者の基礎学力を測ることですね。もちろん、この「基礎学力」には、思考力も含まれます。しかし、大学入学志願者の多くが受験する「共通テスト」ですから、平均点は、これまでのセンター試験と同様に、6割程度が目安です。

したがって、これはすでに述べてきたことですが、

「数学的な基礎力」を試す問題と「広い意味での思考力」を試す問題とのいずれも出題される

ことになる可能性は極めて高いのです。

3 「センター試験」の過去問は不要？

「センター試験」の過去問の中には、「思考力を試すような問題」もすでに含まれています。ここ数年、とくに顕著です。例えば「データの分析」には、共分散の公式の導出に関する設問、平均値・分散などの変数変換に関する設問、など理論的な内容が出題されています。出題形式こそ会話形式などではありませんが、センター試験は相当に思考力も問うているなあという設問が散見されます。（だったら、センター試験を共通テストに衣替えしなくていいじゃない、という声も聞こえそうですが。）

「共通テスト」の問題にも含まれる基礎的なテーマの練習にも「センター試験」の過去問は使えそうです。

マーク式は慣れが必要ですが。「センター試験」の過去問でマーク形式を練習することも出来そうです。

「センター試験」はすでに過去の遺物とみるのでは、ちょっともったいない！

4 「共通テスト」対策に手がでない？

もし、「共通テスト」対策に手がでないという生徒がいたら、

まず、「センター試験」の過去問をやってみる

のもよいと思います。「共通テスト」の基礎問題のトレーニングとなります。さらに

マーク式の誘導の仕方を学び、自分の弱点分野をチェックし、時間の厳しさを体感する

ことになりますね。これだけでも、平均点は確保(?)、志望校によっては十分な対策となるかもしれません。

さらにエンジンがかかれば、「試行調査」の問題など、思考力を試すような難問に挑戦する、というプランはいかがでしょうか。